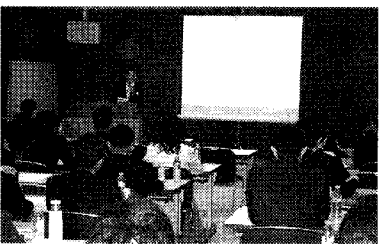


優良ドライバ―認定制度

4月からトライアル

ESJ

廃棄物処理業の民間による全国ネットワーク構築を進めるエコスタッ



ESJの展望
でESJの展望
を説明

フ・ジャパン(ESJ、東京都中央区)はこのほど、3周年記念講演会「激変する廃棄物処理業界で顧客満足NO.1をめざす」今後のESJのあり方」を都内で開催した。この中で、廃棄物収集運搬の優良ドライバ―を認定する「ESJドライバ―認定制度」を4月からスタートさせるとした。

ESJは全国の処理業者の中から地域の優良業者を中心に加盟会社を募り、全国統一ブランドによるネットワーク展開を図っている。事業開始から3年で加盟会社数は27社となっている。今回は3周年を記念した講演会を開催、加盟企業や行政関係者など60人強が参加した。

冒頭あいさつした田部和生代表は、ESJの目的を「安全・安心を標準化すること」と説明。その一環としてESJドライバ―認定制度をスタートさせる計画だ。講演会ではESJ環境コンサルタントを務める環境ワークスの黒崎由行代表が同制度の詳細について解説。認定に当たってはESJ関係者だけでなく、排出事業者、関係団体、マスコミなどを加えた諮問委員会を設置し、循環型社会・処理業への理解、接客接遇、安全・省エネ運転技量などを基準として審査を行っていくと説明した。

4月からESJ会員を対象にトライアル開始し、10月からオープン化する予定。田部氏は「将来的にはESJ認定を取得することが業界標準とされることも視野に入れている」とした。